



平成 30 年 4 月 13 日

各 位

会 社 名 アクサホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 久岡 卓司  
(JASDAQ・コード3536)  
問合せ先 取締役経営管理部長 新藤 達也  
(TEL. 078-335-8844)

## 第 2 四半期業績予想との差異に関するお知らせ

平成 29 年 10 月 16 日に公表した業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の差異について

平成 30 年 8 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想と実績値との差異 (平成 29 年 9 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 7,607	百万円 169	百万円 117	百万円 106	円 銭 3.51
実績値 (B)	7,375	77	43	34	1.14
増減額 (B-A)	△231	△91	△73	△72	—
増減率 (%)	△3.0	△54.4	△62.7	△67.7	—

#### 2. 業績予想との差異の理由

当第 2 四半期連結累計期間につきまして、売上高は小売セグメントでは前年同四半期と横ばいとなり、一方で卸売セグメントでは前年同四半期を上回ったものの、全体として業績予想を下回りました。各利益につきましては、経済情勢の変化や体感物価の上昇等による消費マインドの低下が懸念されるなか、需要喚起のため価格訴求による販売促進に取り組んだ結果、売上総利益率の低下に加え、広告宣伝費が増加したことで、業績予想を下回りました。また、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、有利子負債の圧縮による支払利息の抑制等により、減少額が緩和されました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、平成 30 年 3 月 15 日付「子会社における固定資産の譲渡、特別利益の計上及び借入金の返済に関するお知らせ」にて公表いたしました固定資産の譲渡益 280 百万円を平成 30 年 8 月期第 3 四半期連結決算にて計上する予定であり、また今後、景気・消費動向の変遷に即した柔軟な価格戦略及び店舗戦略を採用する必要性並びに為替レートの影響等による不確定要素があるため、変更しておりません。今後の業績動向を踏まえ、業績予想を見直す必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

(注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上